

□議員名：山田伸幸

1 国民健康保険について

論点	国民健康保険の資格証明書発行の要件は厳密に実施しているのか。
回答	「支払い能力があるのかかわらず支払わない」「何度も文書を送付しているにもかかわらず、無視し反応しない」また、「交わした分納誓約の約束を何度も破る」といった滞納者に対して、資格証明書を発行している。

論点	資格証明書では事実上の保険証の取り上げとなっていて、病気を抱え受診しても10割負担となっている。病気を抱える人には資格証明書の発行を控えるという約束ではなかったか。
回答	資格証明書の対象となる前に、納付相談通知や督促状、催告書に弁明を書くようになっており、病状などを書いていただければ確認が取れ資格証明書に至らない。受診後に窓口に来ていただければ払い戻しの手続きをする。

2 「改定」介護保険制度について

論点	4月から始まる「改定」介護保険制度では、現在の要支援に当たる方のサービスを外す方向だが、市はどのように対応しようとしているのか。
回答	まだまだ受入体制が不十分と考えている。実施については27年4月からではなく、猶予期間を利用しながら、その間に条件整備をしていきたいと考えている。

論点	軽度の方の認定申請をさせず市の受付窓口で排除していく仕組みではないのか。
回答	国が示す基本チェックリストありきではなく、受付窓口において専門医の活用など慎重の上にも慎重を期していきたい。

3 介護ボランティアポイント制度と地域通貨について

論点	介護の将来に備え、介護のボランティアをした人にポイントを付与する制度と地域通貨を導入して、持続可能な介護体制としてはどう
----	--

	か。
回答	地域通貨は商工振興や消費の流出を防ぐ、小売店対策などに効果がある。市内の商工団体などと連携して実施していきたい。実施時期としてはボランティアポイントの換金が始まる夏以降としたい。

論点	岐阜県可児市の地域通貨Kマネーでは住宅リフォーム助成にも活用している。市民にもよりよい制度のために意見を聞いてはどうか。
回答	実施に向け早急に着手する。市民の意見を聞く機会を設けたい。

4 公園通り周辺の渋滞抜け道対策について

論点	有帆川大橋開通に対して公園通り周辺の住民から交通渋滞に対する不安の声が聞かれている。特に抜け道として生活道が利用され不安がある。対策はどうするのか。
回答	県道の拡張に向け、都市計画の変更や用地測量など行われている。早期完成を目指して山口県とも連携して進める。

論点	立ち退き対象の方の話を聞いたが、市外に引っ越しを考えておられた。住民に対する丁寧な対応が必要ではないのか。
回答	地域の住民に対して、市がどう動くが問われていると感じる。市の対応や今後の見通しなどを説明する機会を持ちたい。